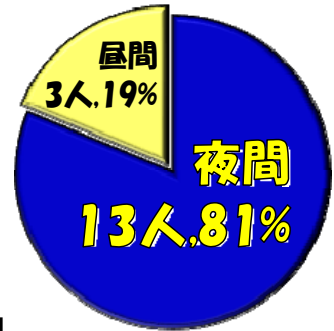


交通安全かわら版

令和5年11月
茨城県警察本部交通総務課
NO. 47

～ 夜間横断歩行者の交通事故防止～

道路横断中の歩行者が直進中の四輪車と衝突する死亡事故は **8割以上が夜間に発生**



直進中の四輪車が横断中の歩行者と衝突する死亡事故(令和5年10月末・死者数16人)

令和5年10月末現在、直進中の四輪車が、道路を横断中の歩行者と衝突する交通事故の死者数は、16人となっています。

この16人を昼夜別にみると、夜間の発生が13人で81%を占めています。

※1 直進中の四輪車が、道路横断中の歩行者と衝突した死亡事故で、右折、左折等は除きます。

※2 昼夜の区分は、事故発生日の日の出、日没時刻を基準としています。

夜間直進中の運転者から見た歩行者(13人)の横断方向は

9人(69%)が右からの横断



夜間の横断歩行者事故が多い要因

- ドライバーからは、昼間に比べ見通しが悪くなり、歩行者からはライトの光だけで車の位置を判断するため、**距離感を誤りやすい**。
- 昼間に比べ交通量が減少するため、ドライバーが**速度を出し過ぎる**傾向があり、歩行者に気付いても避けきれない。
- 車の**ヘッドライトの照射距離は、左側に比べ右側は短い**ため、右からの横断歩行者の発見が遅れる傾向がある。

夜間運転するときは…

- 先行車や対向車がない場合は、**ライトを上向きに切り替え**、視界を確保する。
- **付近が暗くなる前にはヘッドライトを点灯**し、歩行者や他の通行車両へ自分の車が近づいている事を、積極的に知らせる。
- 見通しが悪い場所では、十分に**スピードを落とす**。
- 「道路を横断する歩行者がいるかもしれない」と、常に危険を予測した「**かもしれない**」運転を心がけ、緊張感を持って運転する。

年末にかけて多発傾向、夜間運転時は特に慎重に！